



ALTクリスティーの

# 英語であれこれ

第5回

Christy



◀Sto.Nino Church(Cebu)  
サント・ニーニョ教会 (セブ) ※フィリピン最古の教会

## Christmas is just around the corner

**Christmas** now surrounds us, happiness is everywhere. I would like to share about how we celebrate Christmas in the Philippines.

Did you know that the Philippines has the world's longest-running Christmas celebration? I'm sure you have a lot on your mind, and "Why?" will probably be the first question you ask.

From September 1<sup>st</sup> to December, Filipinos celebrate Christmas. We call them "ber" months. September, October, November, and December are the months. If you visit the Philippines from September to November, you may be surprised to hear Christmas tunes everywhere, to see Christmas decorations and lanterns, and so on. I'll tell you that don't be surprised as it is normal in the Philippines.

What do Filipinos do during Christmas? The main Christmas celebrations begin on December 16th, when many people flock to the church for the nine pre-dawn or early morning masses. The final mass is held on Christmas Day. We called it "Misa de Gallo" or "Simbang Gabi," and the masses last an hour. Most churches conduct 3:00 a.m., 4:00 a.m., and 5:00 a.m. masses to accommodate everyone.

Aside from that, if you live in the Philippines during the Christmas season, don't be surprised if you have some knocks on your door because many children and adults will go carolling. Every house is practically filled with Christmas songs. In exchange, you can give them money or food. It's not mandatory to give, but rather a desire to spread Christmas cheer across the country. Christmas is the season of giving.

We go to the church on Christmas Eve, December 24th. After that, we return home for our "Noche Buena" midnight feast. We definitely prepare a lot of food because Christmas in the Philippines is for everyone, including family, friends, and neighbours. After eating, we can exchange "Christmas Aguinaldo" gifts. Your loved ones can truly receive and give gifts. Particularly if you have godchildren, gifts are typically given by godfathers and godmothers. There is no doubt that you will be confused about which Christmas party to go if you have a large circle of friends, family, and relatives. That's it, I suppose. I'm excited to spend Christmas with my Filipino friends in Japan for the first time. Cheers to a joyous and festive Christmas! Cheers to the holidays!

## クリスマスはすぐそこ!

今、私たちはクリスマスに囲まれて、幸せいっぱいです。フィリピンでのクリスマスの祝い方についてお話ししたいと思います。

フィリピンでは、クリスマスのお祝いを世界中で最も長期間にわたって行うことを知っていますか? 皆さんはきっといろいろ考えるでしょうがその中で「なぜ?」というのがおそらく皆さんが最初に感じる疑問でしょう。

フィリピン人は、9月1日から12月までクリスマスを祝います。私たちはそれらを「ber month」と呼んでいます。9月(September)、10月(October)、11月(November)、12月(December)はberが付く月だからです。9月から11月にかけてフィリピンを訪れると、あちこちでクリスマスソングが聞こえてきたり、クリスマスの飾り付けやランタンなどを見て驚かれるかもしれませんが、フィリピンでは普通のことなので驚かないでください。

フィリピン人はクリスマスに何をするとお思いますか? クリスマスの主なお祝いは12月16日に始まります。この日には、夜明け前か早朝に開催される9回のミサに参加するために多くの人が教会を訪れます。最後のミサはクリスマスの日に行われます。私たちはそれを「ミサ・デ・ガロ」<sup>※1</sup>または「シンバン・ガビ」<sup>※2</sup>と呼んでいて、ミサは1時間ほど続きます。ほとんどの教会では、全員が参加できるよう午前3時、午前4時、午前5時にミサを行っています。

それはさておき、フィリピンに住んでいるのであれば、クリスマスシーズンにドアをノックされても驚かないでください。多くの子供や大人がキャロル<sup>※3</sup>を歌いに來るのです。どの家でもクリスマスソングが溢れています。彼らに歌ってもらったら、お金や食べ物を贈ります。これは強制的なものではなく、クリスマスの元気を国中に広めたいという願いからのものです。クリスマスは贈り物をする季節なのです。

私たちは12月24日のクリスマスイブに教会に行きます。それから、家に戻り「ノーチェ・ブエナ」<sup>※4</sup>と呼ばれる真夜中のごちそうを食べます。フィリピンのクリスマスは家族、友人、近所の人たちと一緒に過ごすものなので、必ずたくさんの料理を用意します。食後はプレゼント交換をします。それは「クリスマス・アギナルド」<sup>※5</sup>と呼ばれます。あなたの愛する人と、心を込めたギフトを贈り合います。特にキリスト教の洗礼<sup>※6</sup>を受けている人は、洗礼に立ち会った名付け親から受け取るのが一般的です。友達や家族、親戚がたくさんいると、どのクリスマスパーティーに行こうか迷ってしまうこと間違いなしです。日本で初めてフィリピン人の友達とクリスマスを過ごすことができるのが楽しみです。楽しく喜びあふれるクリスマスに乾杯! 祝日に乾杯!

※1 ミサ・デ・ガロ:キリスト教(カトリック)で行われる早朝のミサ ※2 シンバン・ガビ:キリスト教(カトリック)で行われる夜のミサ ※3 キャロル:クリスマス時期に歌われる賛美歌 ※4 ノーチェ・ブエナ:聖夜、イエス・キリストが誕生する前の夜のこと ※5 クリスマス・アギナルド:日本でいうお年玉のようなもの ※6 洗礼:神を信じ、その信仰に立った人が神と人々の前で自分の信仰を公けに告白する礼典



# とよしつだより

1月14日は、  
婚活作戦会議の日

1月14日は婚活作戦会議の日、年初に婚活や結婚に向けての目標(婚活作戦会議)を立ててもらおうと、結婚相談所事業者が制定したものだ。日付は、バレンタインデー(2月14日) ホワイトデー(3月14日)のプリ的な位置づけで1月14日に。結婚のみならず、自分の望む未来をこの日に立ててみるのも一計かと。

## ◆関連図書

結婚は勢いだと言ふ

日向 蓬・著

恋人のままじゃダメ?すべての「適齢期女子」に贈るマリッジブルー小説。同棲4年の彼からプロポーズされた玲子、嬉しいけど今ひとつ乗り気になれない。周りには結婚でイタイ目にあつた人たちがばかり、思い悩む玲子が下した結論とは。



## ◆一般図書

読み終わらない本

若松 英輔・著

100分de名著の人気講師が全ての若者たちへ贈る「読むことの哲学」。変わっていく君と友に「生きてくれる本に出会ってほしい。人生を変えた本と言葉を手紙に綴るサン!! テブシユベリ他全12編のエッセイ。」



## ◆児童図書

大ピンチずかん2

鈴木 のりたけ・著

ベストセラー絵本『大ピンチずかん』の第2弾。内容は、やっぱり期待を裏切らない。親子で一緒に楽しめる、大爆笑に満ちている。大ピンチは、日常生活の中でふとした拍子にやってくる。『大ピンチずかん』を知っている君たちは焦ったりしない、いつも手元においで大ピンチに備えたい。



## 図書室休室日のお知らせ

1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29		

は休室日  
開室時間：午前8時30分～午後5時15分

## 新着図書紹介

- ・読み終わらない本/若松 英輔
  - ・星を編む/凧良 ゆう
  - ・椿ノ恋文/小川 糸
  - ・わたしに会いたい/西 加奈子
  - ・夜明けのはざま/町田 その子
  - ・深夜のカフェ・ポラリス/秋川 滝美
  - ・86歳の健康暮らし/田村 セツコ
  - ・大ピンチずかん2/鈴木 のりたけ
  - ・自分の気持ちを上手に伝えることばの魔法図鑑/五百田 達成 他2冊
- ★その他、寄贈本については、11月に1名の方から500冊寄付頂きました。

## 本のリクエスト・リサイクルについて

図書室では、利用者から本の購入リクエストを受け付けております。寄贈本に関しては、広野町ゆかりの図書を収集します。一般図書は可能な限り新刊本を収集します。詳しくはスタッフまでお尋ねください。



## 11月の貸出ランキング

- 1位 リカバリー・カバヒコ/青山 美智子
- 2位 老いの地平線91歳自信をもってボケます/樋口 恵子
- 3位 チーム紫式部/楠木 誠一郎
- 4位 続 窓際のトットちゃん/黒柳 徹子
- 5位 パンどろぼうとほっかほっカー/柴田 ケイコ